

S NW対話会イン九州大学対話会 2022 アンケート結果

纏め：山崎 智英

○参加学生 5名（学部4年1名、修士1年3名、修士2年1名）

○4名：就職希望、1名：未定

(1) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

- ・とても満足：4名
細かいところまで丁寧に教えていただいたから
知らなかった事情等を知れたから
自分が知らなかったことまでたくさん知ることができた
- ・ある程度満足：1名

(2) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

- ・十分聞くことができた：3名
対話形式だったので質問しやすかった
- ・ある程度聞くことが出来た：2名

(3) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

- ・新しい知見が得られた。：5名
- ・マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。：1名
- ・自分の将来の進路の参考になった。：2名

(4) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

- ・非常にある：2名
- ・ややある：3名

(5) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

- ・勧めたいと思う：3名
- ・どちらともいえない：2名

(6) 放射線、放射能に対して伺います。（複数回答可）

- ・放射線、放射能はやはり怖い。：1名
- ・一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。：5名
- ・放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。：4名

(7) 原子力発電に対して伺います。

第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえあなたの認識は次のどれですか？

- ・原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。：1名
原子力は将来にわたり我が国にとって必要なエネルギーであると考え
- ・原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。：4名

(8) 2050年カーボンニュートラル政策が必要と思いますか？

- ・必要であるが、実現するとは思えない：4名

実現した場合にそれまで払った犠牲が大きくなりそうだから

気象変動などを考えると必要だと思うが、エネルギー自給率が低いので国際情勢（戦争など）面の影響を受けてしまうと実現できない可能性もあると感じる

我が国では、再エネも原子力も十分に早く進むとは思えないので火力への依存は当面続くと思われる

- ・必要ない：1名

我が国と、他国と違い資源貧国であるため、世界と歩調を合わせる必要はない。2050年はあまりに現実的ではない

(9) 世界的なエネルギー情勢についてどのように認識していますか

- ・大変厳しい状況である：1名

資源の枯渇と世界情勢の緊張

- ・厳しい状況である：4名

電力需要が増加していくのに、燃料の安定供給が難しくなりそうだから

ウクライナ侵攻の影響でロシア産の化石燃料を使えない国が多くなると思うから

日本は地政学的な要因で、燃料（化石燃料含む）の輸入が滞る可能性が少なくない

(10) 我が国として2050年カーボンニュートラルの実現とエネルギー危機への対応はどうしたらよいとお考えですか？（複数回答可）

- ・不安定な太陽光や風力には限界がある：3名
- ・原子力を最大限活用すれば可能だと思う：2名
- ・排出される二酸化炭素の分離、活用、隔離をすれば可能と思う：1名
- ・水素などへの燃料転換により可能と思う：2名
- ・わからない：1名

(理由)

安定的に電力を供給するためにはある程度の二酸化炭素排出は許容しなければならないと思う。大規模・大容量の蓄電設備を用意することが重要だと思う。

再エネだけでは不可能である。安定供給と技術開発という側面から、原子力は必要不可欠である。

(11) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・シニアの方々との対話は、なかなかない機会だったので参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・質問に対する時間の区切りがグダグダだったので質問への配分を考えるとよいと思った。（特定の人物の発言が多かったので、もう少しメリハリをつけてやればよかった。）

以上